

はじめに

毎日がゴールデンウィークの団研メンバーもいる中、世間的には一区切りがついた。コロナ前の時期を上回る国内・海外旅行客も見られたというが、如何せん円安の猛威が収まらず海外組もアジア勢が多かったようだ。地方の県議などは、相変わらずの報告義務のない慰安旅行を楽しんだ面々もあったと新聞報道が伝えていたが、懲りない連中はまだ生息しているようだ。政治資金の透明性は与党の自公内で意見がまとまらず停滞している。まだ、自民の抜け道策に妙案が出ないということか？

*右の写真は”春の陣” (鈴木さん撮影) のひとこま。



1. 4月28日(日) 室内作業まとめ

<参加>保科、鈴木、松岡、力田、市川、松井

<内容>

10:00~12:00 第120回学習会: Lowe1982・・・保科さん担当「要旨」のみで2時間
残りの「導入 流れの種類と堆積機構」は次回へ!

12:00~13:00 昼食 (弁当持参)

13:00~15:00 ・早稲田大学材料研究所 川高地学部訪問について
・飯能枕状溶岩薄片の検討 (基質: ハイアロクラスタイト)
・蛇灰岩の検討 (蛇紋石の確認)

15:00~16:00 春の陣まとめと今後

・第2鹿角沢のユニット境界の変更(ユニット最下部を礫岩基底)
・ユニット厚 おおよそ10m~15m!?
(沢の調査ではユニット上下がおさえられない)

2. 今後の予定

5月25日(土) 川越高校 10:00集合、昼食持参

<内容> ①学習会: 保科さんの続き+松井担当箇所
②第二鹿角沢・大久保沢(沢口川)の柱状図作業

7月06日(土) 川越高校 10:00集合、昼食持参

①学習会: 松岡さん担当箇所
②南牧川本流土石流unitと第2鹿角沢unitの関係
③夏の陣: 日程と内容の詳細検討

8/5(月)~7(水) ”夏の陣” 予定 *平社さんを招き、現地で堆積ユニットを学習
宮室: 南牧川本流と第2鹿角沢のユニット対比

*Lowe シーケンス学習会の分担

①279p~282p 左14行: (保科) ②282p 左15行~284p 右2行: (松井)
③284p 右3行~286p 右下から11行* (松岡) ④286p 右下10行~289p 左22行: (鈴木)
⑤289p 左23行~291p 左下から4行: (市川) ⑥291p 左下から3行~295p 左下(力田)

3. Epi騒動・・・ABSTRACTで2時間! 古老たちの強固な頭脳は健在! 要柔軟さ!